

[PRESS RELEASE]

天野 祐子 | 堀内 悠希 Yuko Amano | Yuuki Horiuchi See the Light

2022 年 3 月 30 日 (水) - 4 月 23 日 (土)

協力: Chie Fukasawa Office

HAGIWARA PROJECTS

〒135-0006 東京都江東区常盤 1-13-6-1F

info@hagiwaraprojects.com

この度Hagiwara Projects では、3月30日(水)より、天野祐子と堀内悠希による二人展「See the Light」を開催いたします。

天野祐子は1985年生まれ。写真家として、様々な展示や媒体、プロジェクトで作品を発表しています。天野は、身近な景色だけでなく、時に雪山や離島に赴き自然の風景や現象を撮影します。川の水面に浮かぶ砂や、樹氷、岩や石、剥がれ落ちた樹皮、木々にとまる鳥など、その土地の断片的な事象を記録し、それらのイメージの背景にある永遠の時間の存在と、シャッターをきるという限られた特別な瞬間の関係性を捉えようとしています。今展では、ヨーロッパのとある修道院の食事後のテーブルを撮影した作品も初披露します。複雑な歴史を背景に抱えながら続く人々の営みにも作家の真摯で力強い眼差しが向けられています。

堀内は1990年生まれ。現在、ポーラ美術振興財団在外研修員としてロンドンに滞在しながら制作をしています。堀内は、身の周りの事物や自然界の事象を相対的に見つめ、そこに内在する普遍性を捉えようと、絵画や写真、映像、インスタレーションなど多彩な手法で表現します。それは、見上げた空の色、足元のアスファルトの模様など、何でもない日々の一端が普遍的な事象へと繋がり広がる瞬間を見出すような行為であり、世界のありようを探る試みとも言えます。本展では、新しい挑戦ともなる大ぶりの新作ペインティングのほか、近年の平面作品で構成される色彩豊かな展示を披露します。

本展覧会タイトル『See the Light』という言葉には、「光明を見出す」「ことの真理を知る」という意味があります。世界と対峙したときに感じる真理や言語化出来ない思いを、天野は自然や人々の営みに自らを対峙させその瞬間を撮影することで、堀内は、あらゆる事象との関係性の中で偶発的に立ち現れる普遍的本質をすくいあげ、その一片を描き示すことで表現します。手法は異なれど、おなじように真理を追い求める二人の作家。不可視なものへ研ぎ澄まされたそれぞれの表現をぜひご覧ください。

HAGIWARA PROJECTS

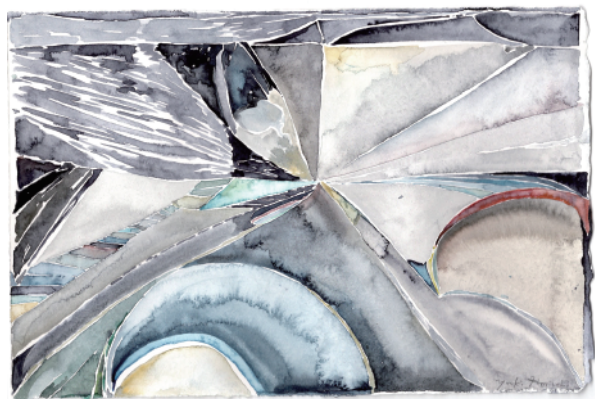
1-13-6-1F Tokiwa, Koto-ku, Tokyo 135-0006 Japan
T/F: +81 (0)3 6300 5881 E: info@hagiwaraprojects.com
www.hagiwaraprojects.com



天野 祐子
“Gračanica”
2019
c-print
36.9 x 46.9 cm

天野 祐子 Yuko Amano

1985年茨城県生まれ。2010年 武蔵野美術大学大学院造形研究科デザイン専攻写真コース修了。主な個展に、2015年「海辺」Midori.so2 gallery (東京)、2013年「unknown | renown」G/P gallery(東京)など。主なグループ展に、2021年「BAIR retrospective exhibition」Center424(ベオグラード、セルビア)、2019年「大地の物語」札幌大通地下ギャラリー、500m美術館(札幌)、2018年「L'esprit parfaitement clair」mcd(リール、フランス)、2017年「ZONA DYNAMIC at GlogauAIR “THE VOICE OF DOXA”」GlogauAIR(ベルリン、ドイツ)、「Open studio “NEW PALALLELIA” with Yang Gi Cheng」Cite Internationale des Arts(パリ、フランス)、2015年「カメラのみぞ知る」HAGIWARA PROJECTS(東京)、「光の洞窟」KYOTO ART HOSTEL kumagusuku(京都)など。2020年「梅田哲也 イン 別府『O滞』」に写真家として参加。主な受賞歴に2017年 武蔵野美術大学パリ賞受賞、2010年 第3回写真「1_WALL」入選。



堀内 悠希
“creation”
2021
watercolor on paper
19.3 x 29 cm

堀内 悠希 Yuuki Horiuchi

1990年奈良県生まれ。2018年東京藝術大学 大学院 美術研究科絵画専攻油画 修士課程修了。現在、ポーラ美術振興財団在外研修員としてイギリスのロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、スレード美術学校にて研修中。主な個展に、2020年「Parallel World」NOHGA HOTEL Ueno(東京)、2018年「Imitation. Fire. Place」ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ校(ロンドン)など。主なグループ展に、2021年「余の光/ Light of My World」旧銀鈴ビル(京都)、2021年「版行動 映えることができない」東京都美術館(東京)、2020年「Super Flatland」White Conduit Projects(ロンドン)、2019年「群青」児玉画廊(東京)、2019年「5月」以外スタジオ(東京)、2019年「London Summer Intensive Showcase」カムデン・アート・センター(ロンドン)、2018年「Speech Bubble」Alte Handelsschule(ライプツィヒ、ドイツ)、2018年「Pn -Powers of PLAY-」東京藝術大学大学美術館 陳列館(東京)、2018年「ヘレン・アット・ザ・マウンテン」てつおのガレージ(日光)など。